

ダムの安全性点検等の概要

水力発電所等の水利使用規則によるダムの安全性に関わる報告データの改ざん等不適切な取扱いがあった、当社野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム、上来沢川ダムについて、昨年度に引き続き、「ダム安全性等評価委員会（第三者委員会）」による安全性点検を実施した。

1. 対象ダム

- ・ 野反ダム（切明発電所：20,000 kW）：群馬県吾妻郡中之条町
- ・ 奈川渡ダム（安曇発電所：623,000 kW）：長野県松本市
- ・ 水殿ダム（水殿発電所：245,000 kW）：長野県松本市
- ・ 玉原ダム（玉原発電所：1,200,000 kW）：群馬県沼田市
- ・ 上来沢川ダム（小武川第三発電所：2,200 kW）：山梨県韮崎市

2. 国土交通省からの指示内容（平成19年5月16日付命令書）

- ・ 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
今後10年間を自己点検計画の検証期間とし、第三者によるダムの安全性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
*初年度の点検・報告を平成19年度に実施したため、平成28年度まで継続。
- ・ 上来沢川ダム
今後10年間を是正計画の検証期間とし、第三者によるダム管理の適正性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
*初年度の点検・報告を平成20年度に実施したため、平成29年度まで継続。

3. 第三者委員会および自己点検による堤体の安全性等の点検結果

- ・ 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
第三者による堤体の安全性の点検について、第三者委員会に依頼し、堤体の巡視・点検結果および計測データ等の状況を確認した。
野反ダムについては、現地において計測設備を含むダム全般の点検を実施するとともに、全てのダムについて書類による堤体の安全性点検を実施した。その結果、いずれのダムも安全性について問題がないことを確認した。
- ・ 上来沢川ダム
同委員会のもと、ダムの安全管理に関する計測・巡視・点検の実施状況について点検を実施した。その結果、ダム管理の適正性について問題のないことを確認した。

以上

<参考>

1. ダム安全性等評価委員会（「第三者委員会」）

・構成

委員長 大町 達夫 東京工業大学 名誉教授
 委員 水野 光章 元（財）水資源協会専務理事
 松本 徳久 政策研究大学院大学客員教授
 柳川 城二 （財）ダム技術センター副理事長

・開催実績

平成24年10月16日，17日（野反ダム現地点検、野反ダム・玉原ダム書類点検）
 〃 10月30日（奈川渡・水殿ダム・上来沢川ダム書類点検）
 平成25年1月11日（最終評価委員会） 計3回

2. 各ダムの概要

ダム名	<small>のぞり</small> 野反ダム	<small>ながわど</small> 奈川渡ダム	<small>みどの</small> 水殿ダム
所在地	群馬県吾妻郡中之条町	長野県松本市	長野県松本市
発電所名	切明発電所	安曇発電所	水殿発電所
型式	コンクリート表面遮水 壁型ロックフィルダム	コンクリートアーチ式 ダム	コンクリートアーチ式 ダム
高さ（m）	44.000	155.000	95.500
堤頂長（m）	152.500	355.514	343.340
竣工年月	昭和31年6月	昭和44年6月	昭和45年6月

ダム名	<small>たんばら</small> 玉原ダム	<small>かみくりざわがわ</small> 上来沢川ダム
所在地	群馬県沼田市	山梨県韮崎市
発電所名	玉原発電所	小武川第三発電所
型式	中央土質遮水壁型 ロックフィルダム	コンクリート重力式ダ ム(表面張石コンクリ ート造り)
高さ（m）	116.000	19.020
堤頂長（m）	570.100	49.580
竣工年月	昭和57年12月	昭和2年12月 (改築：平成21年3月)

以 上